



Title	大阪大学歯学雑誌 第69巻1号 目次
Author(s)	
Citation	大阪大学歯学雑誌. 2025, 69(1)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/103298
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪大学歯学雑誌

The Journal of Osaka University Dental Society

January 2025 Vol.**69** No.**1**

大阪大学歯学会

The Osaka University Dental Society
OSAKA JAPAN

大阪大学歯学雑誌

Vol. 69 No. 1

Contents

規定

2024年度 大阪大学歯学会 優秀研究奨励賞 規定

2024年度 大阪大学歯学会 優秀海外発表大学院生奨励賞 公募要項

総説

カテコール-O-メチルトランスフェラーゼ (COMT) 阻害剤の複合体 X 線結晶構造解析及び、

FMO (Fragment molecular orbital) 法を用いた活性中心における相互作用評価 ——— 武部 克希 1

閉口筋紡錘感覚の小脳皮質への投射 ——— 堤 友美 (他2名) 9

顎骨の間葉系幹細胞を用いた骨再生法の開発 ——— 西村 正宏 17

Information

会務報告 ——— 25

大阪大学歯学会会則 ——— 31

デジタルデータ出稿の詳細 ——— 34

引用文献の表記ルール ——— 34

歯学会雑誌原稿投稿時のセルフチェックシート — 35

誓約書 ——— 36

教室研究紹介

大阪大学大学院歯学研究科 歯科生体材料科学講座 — 37

大阪大学大学院歯学研究科 顎顔面口腔矯正学講座 — 39

表紙のことば

慢性間歇的低酸素負荷を行った閉塞性睡眠時無呼吸モデル動物では、口腔領域の痛覚過敏およびメカニカルアロディニアを発症する。同モデルの三叉神経節ニューロンにおいて、TRPV1発現 (写真左) および、Calcitonin gene-related peptide (CGRP) (写真中央) の発現が増加した。さらに、satellite glial cells の活性化 (GFAP 陽性) が認められた (写真右)。したがって、慢性間歇的低酸素負荷による末梢感作が、口腔顔面痛を惹起すると示唆される。上記の内容は、Kishimoto *et al.* Neuroscience, 2022; Katagiri *et al.* Sleep, 2024 に報告した。

(口腔生理学講座)

規 定

2024 年度 大阪大学歯学会 優秀研究奨励賞 規定

2024 年度 大阪大学歯学会 優秀海外発表大学院生奨励賞 公募要項

総 説

新規の関節軟骨・骨破壊機構 —非古典的 Semaphorin 4D シグナル経路— 村 上 智 彦 1

接着界面の非破壊評価法を進化させた新規診断装置の創出 [二次出版] 峯 篤 史 7

口腔バイオフィルムの栄養的な関係を強化する

Fusobacterium nucleatum の代謝特性と歯周病への影響 坂 中 哲 人 (他 2 名) 27症例報告

過大なオーバージェットと上下顎歯列に叢生を認める骨格性上顎前突の一治験例 八 木 弘 子 31

上顎左側中切歯の骨性癒着を伴う骨格性 3 級症例の一治験例 杉 山 美 佳 (他 5 名) 37

上顎犬歯の移転と埋伏に伴い上顎中切歯を欠損した骨格性 3 級開咬症例 草 野 慎之介 (他 3 名) 45

Information

会務報告 59

大阪大学歯学会会則 67

デジタルデータ出稿の詳細 70

引用文献の表記ルール 70

歯学会雑誌原稿投稿時のセルフチェックシート 71

誓 約 書 72

教室研究紹介

大阪大学大学院歯学研究科

有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座 73

大阪大学大学院歯学研究科

薬理学講座 75